第４章　学生受入

資料編

・資料索引

資料番号	資料名	ページ番号	関連資料
4－1－1	準学士課程における求める学生像	4-1	平成 25 年度入学生募集要項
4－1－2	準学士課程における求める学生像(各学科)	4-2	函館高専ウェブサイト
4－1－3	求める学生像の PR 状況	4-3	学生課, 広報委員会資料
4－1－4	専攻科における入学者受入方針と求める学生像	4-4	平成 25 年度専攻科募集要項
4－1－5	編入学生向け求める学生像	4-4	平成 25 年度編入学募集要項
4－1－6	求める学生像(本校におけるアドミッション・ポリシー)周知度アンケート	4-5	点検評価委員会資料
4－1－7	入学者選抜実施委員会議事要旨（抜粋）	4-6	平成 25 入学者選抜実施委員会議事録
4－2－1	選抜方法(準学士課程)	4-7	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－2	推薦による選抜方法(準学士課程)（抜粋）	4-8	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－3	推薦書(準学士課程)	4-9	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－4	自己アピール書	4-10	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－5	推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋）	4-11	平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録
4－2－6	推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜のデータ	4-11	※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可
4－2－7	学力による選抜方法(準学士課程)	4-11	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－8	学力選抜(準学士課程)に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋）	4-12	平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録
4－2－9	推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜のデータ	4-12	※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可
4－2－10	推薦による選抜方法(専攻科)	4-12	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－11	推薦書(専攻科課程)	4-13	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－12	専攻科推薦選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋）	4-14	平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録
4－2－13	専攻科推薦選抜に関するデータ	4-14	※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可
4－2－14	学力による選抜方法(専攻科課程)	4-15	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－15	専攻科学力選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋）	4-16	平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録
4－2－16	専攻科学力選抜に関するデータ	4-16	※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可
4－2－17	学力による選抜方法(専攻科社会人特別選抜)	4-16	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－18	編入学による選抜方法	4-17	平成 25 年度入学者募集要項

4－2－19	編入学者選抜学力試験科目	4-18	平成 25 年度入学者募集要項
4－2－20	編入学の選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録(抜粋)	4-19	平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録
4－2－21	編入学の選抜に関するデータ	4-19	※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可
4－2－22	留学生受け入れ承諾に関する原議書	4-20	学生課資料
4－3－1	入学者状況(準学士課程)	4-22	学生課資料
4－3－2	入学状況(編入学)	4-23	学生課資料
4－3－3	入学状況(専攻科課程)	4-24	学生課資料

資料４－１－１

「準学士課程における求める学生像」

函館高専はこのような人を求めています

技術者は、われわれの生活を豊かにするいろいろな「夢」を「工業製品」として実現するという大事な仕事をしています。

函館工業高等専門学校（略称：函館高専）は、創造力と実行力に富み、豊かな教養と人間性を持った技術者の育成をめざしています。

函館高専は次のような人の入学を歓迎します。

- **人々のため、社会のために働きたい人**
- **仲間と協力して「夢」を実現する事業に挑戦したい人**
- **世界を舞台に新しい技術を開発してみたい人**
- **いろいろな「ものづくり」に携わりたい人**
- **コンピュータを活用して仕事をしたい人**

例えば、今、中学校で

理科が得意な人は、その**探求心**を技術開発の世界でもっと**深め**てみませんか。

数学が得意な人は、その**思考力**を技術革新の世界でもっと**高め**てみませんか。

英語が得意な人は、その**コミュニケーション能力**を国際技術社会で**実践**してみませんか。

技術家庭が好きな人は、その**創造力**をものづくりの世界でもっと**究めて**みませんか。

生徒会や部活で活躍した人は、仲間と**協力する能力**を本校や社会で**発揮**してみませんか。

以上どれかにあてはまる方、函館高専はあなたの入学を待っています。

(出典：平成 25 年度入学生募集要項)

資料４－１－２

「準学士課程における求める学生像(各学科)」

アドミッションポリシー

函館高専が入学を期待する人（アドミッションポリシー）

函館高専は教育目標にあるような技術者を世に送り出すため、次のような人の入学を期待しています。

- 人々のため、社会のために働きたい人
- 仲間と協力して「夢」を実現する事業に挑戦したい人
- 世界を舞台に新しい技術を開発してみたい人
- いろいろな「ものづくり」に携わりたい人
- コンピュータを活用して仕事をしたい人

中学校で

- **理科**が得意な人は、その**探求心**を技術開発の世界でもっと**深め**て見ませんか
- **数学**が得意な人は、その**思考力**を技術革新の世界でもっと**高め**てみませんか
- **英語**が得意な人は、その**コミュニケーション能力**を国際技術社会で**実践**してみませんか
- **技術家庭**が好きな人は、その**創造力**をものづくりの世界でもっと**究め**て見ませんか
- **生徒会や部活**で活躍した人は、仲間と**協力する能力**を本校や社会で**発揮**してみませんか

各学科が求める人

機械工学科

機械工学科は「人のために役立つ」、「生活を豊かにする」、「環境にやさしい」“ものづくり”を目指す創造技術者を育てる学科です。本学科では、次のような人の入学を期待しています。

- **自動車、飛行機、ロボットなどの機械を作ることに興味がある人**
- **コンピュータを使った機械の制御や製品のデザインに関心がある人**
- **新しい材料や新しいエネルギーの開発に挑戦したい人**

電気電子工学科

電気電子工学科は「国際社会に通用する新しい電気機器や電子素子を創造できる電気電子技術者」を育てる学科です。本学科では次のような人の入学を期待しています。

- **電気で動かす機器や素子に興味があり、新しい便利な機器や素子を作り、快適な社会作りに携わりたい人**
- **コンピュータやそれを使った情報機器に興味があり、新しい機器の開発に興味がある人**
- **ものづくりを仕事としたい人、国際的に活躍したい人**

情報工学科

情報工学科は「コンピュータを作る技術やコンピュータを利用して情報を効率よく整理する技術」について勉強する学科です。本学科では次のような人の入学を期待しています。

- **興味を持ったことに夢中になれる人、いろいろ新しいことを考えるのが好きな人**
- **数学や理科に興味があり、物事を筋道立てて考えることができる人**
- **コンピュータ本体やコンピュータシステムの高性能化や高度な利用法に興味がある人**

物質工学科

物質工学科は「化学や生物工学、環境工学の基礎知識と先端的技術を融合して人類に役立つ物質を創造する技術者」を育てる学科です。本学科では次のような人の入学を期待しています。

- **新しい材料物質の開発や生物工学の利用について興味を持っている人**
- **エネルギーやさまざまな資源の開発、有効利用に興味ある人**
- **科学技術が自然に及ぼす影響を理解でき、地球環境問題の解決に強い関心のある人**

環境都市工学科

環境都市工学科は「地球環境を守り、人々が快適に過ごすことができる都市（社会基盤）をつくる建設技術者」を育てる学科です。本学科では次のような人の入学を期待しています。

- **市民の生命と安全を守り、自然環境と調和した都市づくりに意欲を持っている人**
- **新幹線、空港、高速道路といったプロジェクトにおいて、構造物の設計や建設に携わりたい人**
- **都市計画や環境保全計画について学びたい人**

(出典：函館高専ウェブサイト)

資料４－１－３

「求める学生像の PR 状況」

平成 24 年度学校案内，学生募集要項，配布数

配布物	配布数	配布先
学校案内2012	5,200	中学校(道内，青森)，学校説明会，体験学習会，学校見学会参加者，学習塾，中学校PTA，函館高専教職員
平成25年度入学者募集要項	1,900	中学校(道内，青森)，入試説明参加者，函館高専教職員
平成25年度専攻科学生募集要項	250	専攻科説明会参加者，社会人入学希望者，函館高専教職員，全国高専
平成25年度編入学者募集要項	120	高等学校，道内高専

平成 24 年度中学校訪問

実施時期	訪問地区	学校数	
第１期(6月)	函館市内・市内近郊	37校	62校
	渡島地区	14校	
	檜山地区	11校	
第２期(7月)	南後志	8校	37校
	北後志	9校	
	青森市内	20校	
第３期(9月)	函館市内・市内近郊	37校	62校
	渡島地区	14校	
	檜山地区	11校	
		計	161校

平成 24 年度行事参加実績

行事名	実施日	参加者内訳				
		学校数	生徒	父母	先生他	合計
学校説明会	7月7日(函館)	49校	179名	179名	18名	376名
	9月8日(青森)	6校	3名	6名	2名	11名
	9月2日(札幌)	内訳不明				27名
一日体験学習会	8月9日～10日	56校	209名	8名		217名
学校見学会	10月27日	40校	107名	71名	1名	179名

(出典：学生課，広報委員会資料)

資料４－１－４

「専攻科における入学者受入方針と求める学生像」

入　学　案　内

Ⅰ．　専攻科の目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力、創造力を有する実践的技術者を育成することを目的として平成１６年４月に設置されました。

Ⅱ．　アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

１　専攻科の教育方針

近年、我が国における産業構造の変化は目覚しく、情報通信技術の加速度的な進歩とともに、多くの産業分野において労働集約型から知識集約型への急速な構造転換が図られています。さらには、産業間の構造障壁が取り除かれることによって専門技術の境界領域が広げられ、各企業の技術者に幅広い学際的知識と創造力、開発力が要求されています。本校専攻科では、創造的な技術開発能力、情報の高度処理能力および提示能力、国際化への対応能力を総合的に兼ね備え、清廉な技術者倫理と社会への強い貢献意識を持った質の高い実践的技術者を育成することを目指しています。

２　求められる志願者像

函館高専専攻科は、高専本科等で学んだ専門知識と技術をさらに高め、社会の発展に貢献する技術者を育成することを目的としており、次のような人の入学を期待しています。

(1) 広い視野と深い専門性を身に付けた実践的な技術者として、社会の発展に貢献することを志す人
(2) 自らの向上をめざして、自主的・継続的に学習・研究することを志す人
(3) 技術者教育を受けるために必要な科学技術、数学および英語についての基礎能力を持っている人

(出典：平成 25 年度専攻科募集要項)

資料４－１－５

「編入学生向け求める学生像」

函館工業高等専門学校はこのような人を求めています

～ 函館工業高等専門学校のアドミッションポリシー（入学生受入方針）～

＊広い視野と深い専門性を身に付けた実践的な技術者として、社会の発展に貢献することを志す人

＊自らの向上をめざして、自主的・継続的に学習・研究することを志す人

＊技術者教育を受けるために必要な科学技術、数学および英語についての基礎能力を持っている人

(出典：平成 25 年度編入学募集要項)

資料４－１－６

「求める学生像(本校におけるアドミッション・ポリシー)周知度アンケート」

Ⅱ　本校のアドミッション・ポリシーについて

Ⅱ－１．準学士課程（本科）全体でアドミッション・ポリシーが定められています。このことを知っていますか？

(1) 知っている　　(2) 知らない

Ⅱ－２．準学士課程（本科）のアドミッション・ポリシーが各学科毎にも定められています。このことを知っていますか？

(1) 知っている　　(2) 知らない

Ⅱ－３．本学専攻科のアドミッション・ポリシーが定められています。このことを知っていますか？

(1) 知っている　　(2) 知らない

Ⅱ－４．本学４年次編入学のアドミッション・ポリシーが定められています。このことを知っていますか？

(1) 知っている　　(2) 知らない

(出典：点検評価委員会資料)

【結果】

教職員用　認証評価アンケート集計結果(周知度調査)

回収日	学科	対象者数	回答数	集計	Ⅰ-1	Ⅰ-3	Ⅰ-5	Ⅱ-1	Ⅱ-2	Ⅱ-3	Ⅱ-4	Ⅲ-1
1月10日	教員	77	50	知っている、活用している等	43	50	23	50	50	49	38	48
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	7	0	27	0	0	1	12	2
	職員	43	35	知っている、活用している等	31	34	5	25	22	22	8	4
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	4	1	30	10	13	13	27	31
	非常勤	24	18	知っている、活用している等	16	15	1	10	6	7	3	17
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	2	3	17	8	12	11	15	1
		144	103	知っている、活用している等	90	99	29	85	78	78	49	69
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	13	4	74	18	25	25	54	34

※対象者数について
教員は、校長および長期出張者(2名)を除く。
職員は、休職者等(2名)を除く。
非常勤講師は、アンケート実施期間中の授業のある人数とする。

上記を%で表したもの

1月10日	教員	77	64.9	知っている、活用している等	86	100	46	100	100	98	76	96
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	14	0	54	0	0	2	24	4
	職員	43	81.4	知っている、活用している等	88.6	97.1	14.3	71.4	62.9	62.9	22.9	11.4
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	11.4	2.9	85.7	28.6	37.1	37.1	77.1	88.6
	非常勤	24	75	知っている、活用している等	88.9	83.3	5.6	55.6	33.3	38.9	16.7	94.4
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	11.1	16.7	94.4	44.4	66.7	61.1	83.3	5.6
		144	71.5	知っている、活用している等	87.4	96.1	28.2	82.5	75.7	75.7	47.6	67.0
				知らない、活用していない等(未回答を含む)	12.6	3.9	71.8	17.5	24.3	24.3	52.4	33.0

(出典：点検評価委員会資料)

資料４－１－７

「入学者選抜実施委員会議事要旨（抜粋)」

平成２４年度　第１２回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２５年1月２２日（火）１７：０５～１７：４０
場　所　共用会議室

◎　報告事項
委員長から平成２５年度にマレーシア政府派遣留学生が機械工学科に１名，物質工学科に１名来るとの報告があった。

(出展：平成25入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－１

「選抜方法(準学士課程)」

平成25年度 函館工業高等専門学校入学者募集要項

Ⅰ 募集する学科及び人員

学科	入学定員	募集人員
生産システム工学科	120名	【推薦による募集人員】 推薦による募集人員は、各学科とも入学定員の 50％程度を上限とします。
物質環境工学科	40名	
社会基盤工学科	40名	

Ⅱ 入学者の選抜方法

□入学者の選抜は、**「推薦による選抜」**と**「学力検査による選抜」**との二つの方法で行います。

Ⅲ 学科選択制度

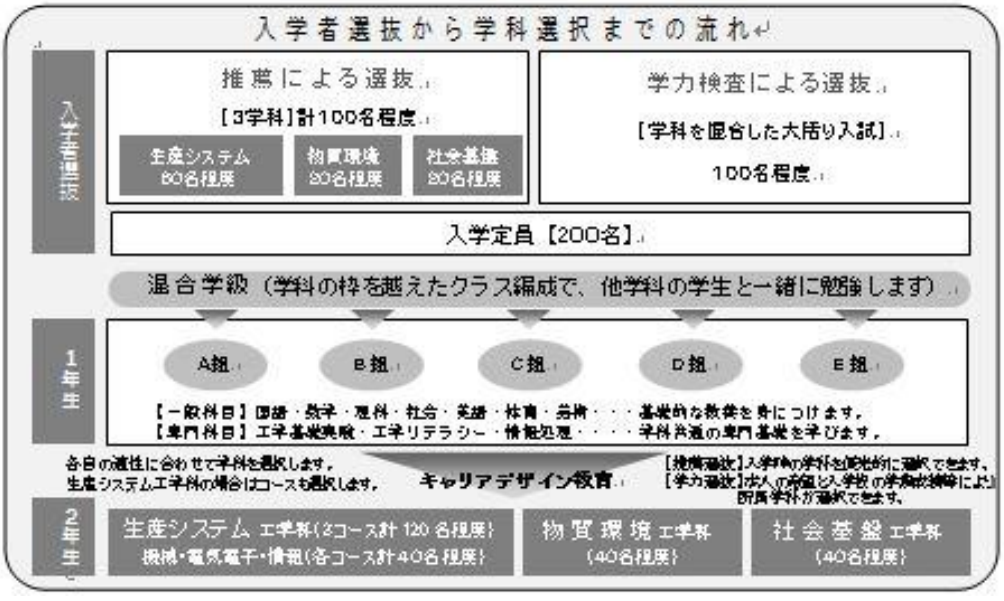
□推薦による選抜及び学力検査による選抜ともに各学科で合格者の発表を行います。

学力検査による選抜（学科を混合した大括り入試）で入学した者は、第1学年の学科は仮配属とし、第2学年進級時に配属学科を選択します。配属学科は、本人の希望と第1学年の学業成績等により決定します。

このため、本校入学後に配属を希望する学科を選択して申請する必要があります。

推薦による選抜で入学した者は、入学時の学科が配属学科となり、第2学年進級時に他の学科への配属を希望しなければ、入学時の配属学科に留まることができますが、他の学科への配属を希望した場合は、学力検査による選抜で入学した者と同じ配属方法により、配属学科を決定します。

なお、学科選択後の各学科の定員は入学定員を基準とする範囲としますので、第1学年の学業成績等によっては希望の学科に配属できないことがあります。



(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－２

「推薦による選抜方法(準学士課程)（抜粋)」

４　選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、自己アピール書、個人調査書、作文及び面接の結果を総合的に判定して行います。

作文は、技術に関する考えを当日与えられたテーマにより、400字程度で作成します。

個人調査書の学習成績と面接等（作文及び自己アピール書を含む）の評価の比率は　５：１です。

(出典　：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－３

「推薦書(準学士課程)」

推□□薦□□書

※受検番号	
第 1志望学科名	工学科

平成□□年□□月□□日

函館工業高等専門学校長□□殿

学校名□□□□□□□□□□□□ 公印 □
校長名□□□□□□□□□□□□ 印 □

下記の者は、学業・人物とも優秀で貴校への入学が適当と認められるので推薦します。

（ふりがな） 生徒氏名		性別	平成□□年□□月□□日生
推□□□□薦□□□□理□□□□由			
11. 志望の動機及び適性			
12. 学→業			
13. 特別活動			
14. 性格及び生活態度			
15. そ→の→他			
記載責任者名□□□□□□□□□□□□□㊞□			

注）裏面の「記入要領」によって記入してください。

(出典　平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－４

「自己アピール書」

自己アピール書

（※印欄には記入しないでください。）

※ 受 検 番 号	
第１志望学科名	工学科

平成　　年　　月　　日

函館工業高等専門学校長　　殿

学　校　名
志願者署名

私が貴校を志願するに当たり、アピールしたいことは、次のとおりです。

１．入学を志望する理由や入学後の抱負について

２．中学校在学中における学校内外の諸活動について

注）裏面の「記入要領」によって記入してください。

（出典：平成 25 年度入学者募集要項）

資料４－２－５

「推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋)」

平成２４年度　第１２回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２５年1月２２日（火）１７：０５～１７：４０
場　所　共用会議室

◎　議　題

１．推薦による選抜合格内定者（案）について

委員長からからの要請により，鳴海委員から全受検生の作文の写しを回覧しながら作文の状況について説明があった。主な説明は以下のとおり。

・コミュニケーション能力及び論理的思考の程度，発達障害の疑いの有無を確認した結果，問題となるようなものは無かった。
・白紙の原稿は無かった。

委員長からの要請により，各面接室担当者から面接状況の報告があり，特に問題となる受検生はいないことが確認された。

副委員長から資料２に基づき合格内定者案の説明があり，審議した結果，８２名全員を合格内定者とすることとした。

(出典：平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－６

「推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜のデータ」

※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可

資料４－２－７

「学力による選抜方法(準学士課程)」

4　選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査及び個人調査書を総合的に判定して行います。

学力検査の成績は、数学、理科及び英語をそれぞれ 2 倍した得点と国語と社会の得点を合計したものとします（800 点満点)。

学力検査の成績と個人調査書の学習成績の比率は20： 9 です。

(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－８

「学力選抜(準学士課程)に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋)」

平成２４年度　第１５回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２５年３月１日（金）９：３０～１０：４２
場　所　共用会議室

◎　議　題

２．平成２５年度入学者選抜学力検査合格者（案）について

委員長の要請により，各試験科目の問題の状況及び採点状況について報告があった。

主な報告事項は，以下のとおり。

（中略）

委員長の要請により，浜副委員長から，資料３に基づき，今年度の合格者原案作成では，例年の進路指導の記録に対して単純に係数をかけて入学予定者数を判定することをやめて，得点順の上位から入学者の予想をする範囲を決めて，その範囲内での進路指導の記録に対して，個人調査書のランクを加味した今までの傾向を踏まえた係数を使って入学者予想をしたものであるとの説明があった。

なお，提示した原案では，数学が０点の受検生は不合格としており，数学の足切り点の３学科の平均をみて，数学の足切り点を２０点未満と設定したとの説明があった。

種々審議を行なった結果，原案どおり合格者が了承された。

(出典：平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－９

「推薦選抜(準学士課程)に関する入学者選抜のデータ」

※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可

資料４－２－１０

「推薦による選抜方法(専攻科)」

Ⅲ．推薦による選抜

２．推薦基準

次に該当する者

（１）第４学年の学年末成績の席次が上位２分の１以内であること。

（２）英語において、別表1に挙げる各テスト・検定に係る基準のいずれかを満たしていること。

４．選抜の方法

入学者の選抜は、成績点（80点満点）、面接評点（20点）を合算した合計点（100点満点）及び推薦書、調査書の記載内容等を考慮し、総合的に判定する。

(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－１１

「推薦書(専攻科課程)」

推薦選抜用

受験番号	※

推　　薦　　書

平成　　年　　月　　日

函館工業高等専門学校長　　殿

学 校 名

学 校 長 名　　印

下記の者は、学業成績、人物ともに優れており、貴校専攻科　　システム工学専攻への推薦入学にふさわしい者と認め推薦します。

記

志 願 者 氏 名

昭和・平成　　年　　月　　日 生

所属学科

推薦理由	
その他参考事項	

(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－１２

「専攻科推薦選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋）」

平成２４年度　第３回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２４年５月２５日（金）１７：００～１７：１５
場　所　共用会議室

◎ 議　　題

１．平成２５年度専攻科推薦選抜面接試験結果及び合否判定について

委員長の要請により，副委員長から資料１に基づき説明があり，引き続き各専攻の面接担当者から面接の状況について，特に問題となる受験生はいなかったとの報告があった。

副委員長から，資料に基づき全受験生が推薦条件を満たしていることを確認した後，専攻科委員会の合否判定原案は，全受験生の総合点が例年合格基準とされている８０点を越えていることから，全受験生を合格としたいとの提案があった。

審議の結果，原案どおり全受験者（生産システム工学専攻１０名，環境システム工学専攻４名）を合格とすることが異議なく了承された。

(出典：平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－１３

「専攻科推薦選抜に関するデータ」

※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可

資料４－２－１４

「学力による選抜方法(専攻科課程)」

３．選抜の方法

入学者の選抜は、調査書の記載内容等を考慮し、学力点、面接評点を合算した総合点（400点満点）により判定する。

（１）筆記試験科目及び出題範囲

科　目		試験科目及び出題範囲	配　点
英　語		本校本科での第４学年程度までの英語、工学的な英語、リスニングテストを含む。	100点
数　学		基礎、線形代数、微分・積分（微分方程式を含む）。	100点
専門科目	生産システム工学専攻	材料力学、流体力学、熱力学、材料学、電気磁気学、電気回路、電子回路、電子工学、信号処理、論理回路、プログラミング（Ｃ言語）、情報ネットワークの１２科目から３科目を選択する。	180点
	環境システム工学専攻	物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、構造力学、水理学、土質工学、コンクリート構造学の８科目から３科目を選択する。	180点

（２）学力点

筆記試験科目の合計点（380点満点）を学力点とする。

（３）面接評点

面接担当者が、質問に対する回答内容、応答態度を評価して総合したものを面接評点（20点満点）とする

(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－１５

「専攻科学力選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋)」

平成２４年度　第５回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２４年７月３日（火）１７：００～１８：２５
場　所　共用会議室

◎ 議　　題

１．平成２５年度専攻科学力選抜（前期）合否判定について

委員長の要請により，副委員長から資料１に基づき，選抜結果についての報告があり，面接状況等について，生産システム工学専攻を担当した石井委員から，２名ほど得点の低い者はいるものの，特に問題となる程度ではないとの報告があった。

また，環境システム工学専攻の面接を担当した澤村委員から，非常に低い得点となっている１名について，面接の準備がなされていなかったと思われるとの報告があった。

さらに，英語及び数学の出題内容と受験者の解答状況について，それぞれ臼田委員及び新田委員から報告があった。

引き続き副委員長から，総合点２００点を基準に合格ラインとする専攻科委員会合格者案が示され，審議の結果，専攻科委員会合格者案のとおり，生産システム工学専攻９名、環境システム工学専攻３名を合格とすることが了承された。

(出典：平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－１６

「専攻科学力選抜に関するデータ」

※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可

資料４－２－１７

「学力による選抜方法(専攻科社会人特別選抜)」

３．選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書及び調査書の記載内容等を十分に考慮し、面接試験により行う。
面接での質問に対する回答内容、応答態度を質問項目別に評価したものを総合的に判定する。

(出典：平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－１８

「編入学による選抜方法」

６．選□抜□方□法

□□編入学の合否判定は、学力試験の成績、高等学校長からの調査書及び面接の結果を総合して行います。

□□学力試験は、数学、英語及び志望学科の専門科目の合計３００点満点、調査書及び面接の結果を□を６０点満点として総得点３６０点満点で評価します。

(出典　平成 25 年度入学者募集要項)

資料４－２－１９

「編入学者選抜学力試験科目」

（1）学力試験科目及び範囲

◆ 一 般 科 目

学　　科	試 験 科 目	範　　囲
共　通	数　　学	数学Ⅰ、Ⅱ
	英　　語	英語Ⅰ、Ⅱ

◆ 専 門 科 目

ア．機械工学科・物質工学科・環境都市工学科

学　　科	試 験 科 目		範　　囲
機 械 工 学 科	機械設計		機械と機構・機械に働く力と運動・機械の仕事と動力・材料の強さ
物 質 工 学 科	工業化学		工業化学
環境都市工学科	選択	土木構造設　計	材料の強さ、力の釣合い、静定梁、部材断面の性質 梁の応力と設計、柱、トラス、梁のたわみ ただし、不静定は除きます。
		建築構造設　計	力の釣合い、構造物、静定構造物の応力、部材の性質と応力度、部材の変形と応力、梁の変形 ただし、不静定梁、不静定構造物を除きます。

イ．電気電子工学科・情報工学科

学　　科	試 験 科 目	範　　囲
電気電子工学科	電気基礎	① 直流回路：電気回路の電圧・電流・抵抗、消費電力と発生熱量、電気抵抗 ② 交流回路：交流回路の基礎、交流回路の電圧・電流・電力、記号法、三相交流 ③ 電気磁気学： 電流と磁界、電界・電圧と静電容量、電磁誘導とインダクタンス
情 報 工 学 科	電気基礎	直流回路：オームの法則・キルヒホッフの法則
	情報技術基礎	① プログラミング（C言語） ② ハードウエア：コンピュータの仕組みと働き

（出典：平成 25 年度入学者募集要項）

資料４－２－２０

「編入学の選抜に関する入学者選抜実施委員会の議事録（抜粋)」

平成２４年度　第７回入学者選抜実施委員会議事要旨

日　時　平成２４年８月３１日（金）９：３０～９：４７

場　所　共用会議室

◎　議　　題

１．平成２５年度編入学者選抜試験合否判定について

委員長の要請により，浜副委員長から資料１に基づき説明があり，面接の状況並びに数学及び英語の出題傾向と解答状況について説明要請があった。

主な説明内容は以下のとおり。

（中略）

引き続き，副委員長からＪ－０１，Ｊ－０２を合格とする提案があり，審議した結果，Ｊ－０１，Ｊ－０２を合格とし，Ｅ－０１，Ｃ－０１を不合格とすることが異議なく了承された。

(出典：平成 25 年度入学者選抜実施委員会議事録)

資料４－２－２１

「編入学の選抜に関するデータ」

※個人情報を含むため調査あるいは訪問時に確認可

資料４－２－２２

「留学生受け入れ承諾に関する原議書」

函館工業高等専門学校原議書

函高専　学　第　号	標識：秘・親展・普通	発送：電信・書留・速達・普通 種別：小包・使送・部内通知
決裁：平成24年 8月 7日	浄書　照合 月　日　月　日	発送：平成24年 8月 7日 ｻｲﾄｽ ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ済
完結：平成　年　月　日	添付物 及注意　：	（別紙　枚．別表　枚）
先方の文書年月日　平成２４年　８月　２日	先方の文書記号番号　２４高機国　第２９号	
受信者 独立行政法人国立高等専門学校機構 国際交流委員会委員長　京　兼　純	発信者 校　長	
件　名 国費留学生の配置について（回答）		
上記のことについて別紙のように　回　答　してよろしいか伺います ~~します~~		
平成２４年　８月　７日　学生課　寮務係　起案		

校長	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員	起案者

合議	総務係長
国際委員会委員長　物質工学科主任 寮務主事	

備考・希望・意見等記入欄	記入者氏名印

（原義書）

2012/8/6

高専希望者 2012（平成２５年４月編入学）

個人番号	国　名	氏　名	呼び名	性別	高専名	学科名	受入の諾否
[redacted]	インドネシア	[redacted]	[redacted]	M	函館	物質工学科	○

×（受け入れられない）場合は理由を記入してください。

1/1

（出典：学生課資料）

資料４－３－１

「入学者状況(準学士課程)」

年度	学科	定員	志願者数	入学者数
23	機械工学科	40(20)	91(12)	45(12)
	電気電子工学科	40(20)	73(20)	42(20)
	情報工学科	40(20)	97(15)	38(15)
	物質工学科	40(20)	105(20)	47(20)
	環境都市工学科	40(20)	95(9)	46(9)
	全体	200(100)	461(76)	218(76)
24	機械工学科	40(20)	77(20)	40(20)
	電気電子工学科	40(20)	75(13)	43(13)
	情報工学科	40(20)	108(18)	38(18)
	物質工学科	40(20)	79(16)	36(16)
	環境都市工学科	40(20)	91(6)	39(6)
	全体	200(100)	430(73)	196(73)
25	生産システム工学科	120(20)	226(55)	123(54)
	物質環境工学科	40(20)	93(15)	35(15)
	社会基盤工学科	40(20)	44(12)	35(12)
	全体	200(100)	363(82)	193(81)

（　）は推薦選抜．志願者は推薦→学力を含む．

25 年度の志願者数，入学者スンは仮配属学科で計上

(出典：学生課資料)

資料４－３－２

「入学状況(編入学)」

年度	学科	志願者数	入学者数
23	機械工学科	0	0
	電気電子工学科	2	0
	情報工学科	0	0
	物質工学科	1	1
	環境都市工学科	0	0
	全体	3	1
24	機械工学科	1	1
	電気電子工学科	0	0
	情報工学科	1	1
	物質工学科	1	1
	環境都市工学科	1	0
	全体	4	3
25	機械工学科	0	0
	電気電子工学科	1	0
	情報工学科	2	2
	物質工学科	1	0
	環境都市工学科	0	0
	全体	4	2

(出典　学生課資料)

資料４－３－３

「入学状況(専攻科課程)」

年度	専攻	定員	志願者数	入学者数
23	生産システム専攻	12	23(11)	19(11)
	環境システム専攻	8	14(4)	10(4)
	全体	20	37(15)	29(15)
24	生産システム専攻	12	19(7)	13(7)
	環境システム専攻	8	9(5)	6(5)
	全体	20	28(12)	19(12)
25	生産システム専攻	12	27(10)	19(10)
	環境システム専攻	8	14(4)	9(4)
	全体	20	41(14)	28(14)

（　）は推薦選抜．志願者は推薦→学力を含む．

(出典：学生課資料)